

一む重長平計をゆゝ一百万石を磨て庄内
へ攻入と云ふ事長りれハ略之庄内惣戦云に
討てゝそのハ子八百十三人等を子安中野の
合戦とも十五里東合戦ともいふ東禅寺右
馬亮中野主長と討れり繪巻新第川案
之卿亦亦記を中ふ云蓋ハ只一騎侍一人お
随演色を河田の湊小剣^い上川の辨子口と
るまで急渡一々希代の御事と今に
人口と少なり云蓋ハ支より志濃御妻沃
村よりりて古人を案図として山城と云

上ハ為新りるとそ又ふ日の合戦小志濃川
よて上野八百余人戦云と討れ是より庄
内一處より希勝の手に入られを所くに城代と
至代官をまへて庄内をもちむ

城代

楯屋表々清工被服より云々伝正或説を引
て曰大浦ハ楯屋表々清松本伝洪代云と云
予按此々に天正十二酉年と十七酉年と云
年の間楯屋氏城代と云れ翌十八年伝洪
代云云